

---

# Gray Snow

雷禅 神衣

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Gray Snow

### 【Zコード】

Z9078H

### 【作者名】

雷禅 神衣

### 【あらすじ】

もう一度、必ず会える。例え肉体は失おうとも・・・。

時も、風も、鼓動も、祈りも  
その瞬間全てが止まつた。

崩れ行く大地に響く、無数の断末魔は  
光を闇に陥れる、確かな証だつた。

大地は割れ、空には永久の闇が訪れる。

失つた太陽の光は、もう一度とこの大地を照らす事はないだろう。  
思いもよらぬ惨劇が、二人を引き裂いた・・・・・。

足の踏み場が無いほど、無造作に転がる死体。  
肉は引き裂かれ、血肉が飛び散り、眼球は転がる。

地平線の彼方まで続く地獄絵図の中  
たつた一人、男が立ち上がつた。

無音・・・耳を突く静けさ・・・孤独と恐怖・・・そしてわず  
かな希望・・・・。

激しく乱れる呼吸が、肺を苦しめる。

異臭塗れの身体で、男は死体を踏みつけながら歩く。

どこまでも・・・どこまでも・・・・。

丘を越えると、大きな木が静かに佇んでいる。  
長き季節を超え、木々を失つた大木。

男は白く染まつた吐息を吐き出し、背中をそつと大木に当てた。  
目を閉じると、十字架のネックレスをした君が浮かぶ。  
白いワンドピースを着た君は、男にこう言つた。

「あの木の下で会いましょう」

今思えば君は、この惨劇を予期していたのだろうか。

疲れ切った身体を沈めるように、男は膝を曲げ蹲る。膝を抱え、この変わりきった世界を眺める。

# 美しいほど変化した人間の姿

この世の地獄と半端ない  
死の世界

再び目を閉じると、君が浮かぶ。

「大丈夫、きっと来るさ・・・・・きっと・・・・・」

氷のように冷たい雪が、男に積もる・・・・まるで全ての悲しみを沈めるよつ。

「来るわ・・・きつと・・・必ず君に・・・逢う・・・ん・・だ・・

L

膝を抱えていた手が力なく離れると

男が背にした大木の反対側で、十字架のネックレスをした女も同じように力なく頸垂れた……。

決して叶わなかつた願い。

二人の距離を埋めるような、灰色の雪が降り出した。・・・。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9078h/>

---

Gray Snow

2010年10月11日18時43分発行